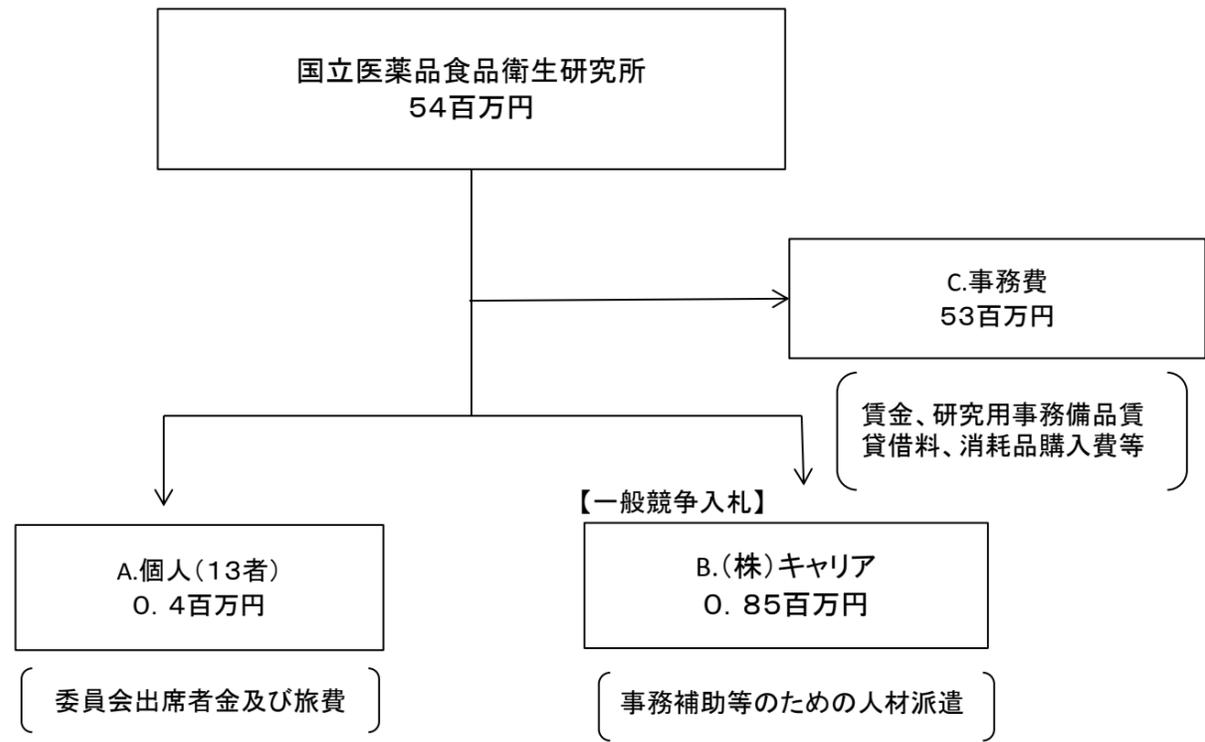


平成25年行政事業レビューシート

事業名	国立医薬品食品衛生研究所競争的研究事務経費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度		担当課室	総務部 会計課		岡村 真一				
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立医薬品食品衛生研究所の研究者に交付された競争的研究費(厚生労働科学研究費補助金及び文部科学省科学研究費補助金等)について、経理事務や利益相反の適正な管理を研究機関が行うことにより、適正な執行及び公的研究である厚生労働科学研究の公正性・信頼性を確保することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立医薬品食品衛生研究所の研究者に交付された競争的研究費について、 ①研究者個人に代わって、研究機関が経理事務を行う。 ②研究機関に利益相反委員会を設置し、利害関係が想定される企業との関わりについて適正に管理を行う。									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求				
		当初予算	57	50	54	54	66			
		補正予算								
		繰越し等								
	計	57	50	54	54	66				
	執行額	56	50	54						
執行率(%)	98%	100%	100%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)			
	競争的研究資金に係る機関経理事務等を行うための経費であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。		成果実績	%	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込			
	厚生労働科学研究費補助金の事務取扱件数		活動実績	-	61	63	68	64		
			(当初見込み)	-	61	(63)	(68)	(-)		
単位当たりコスト	794,118(円/ 補助金の事務取扱件数)		算出根拠	①執行額54百万円 ②平成24年度補助金の事務取扱件数68件 執行額÷取扱件数=794,118円						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	0.26	0.30							
	委員等旅費	0.08	0.08							
	庁費	0.04	0.04							
	試験研究費	53.89	65.95							
計	54	66								

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国民の健康安全等のための研究を適正に行うための経理事務であり国民のニーズは高く、国費を投入する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の施設である国立医薬品食品衛生研究所の経理事務を行うので国で行うことが適正である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	国民の健康安全等のための研究を適正に行うための経理事務であり優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	少額随意契約の対象金額を超える案件については、一般競争入札を実施し、競争性を確保した。また、随意契約の場合であっても複数者から見積を徴収し、最廉価格の者と契約を締結した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要な経費のみ支出している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・執行管理表により支出先及び用途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。 ・平成24年度は68件の補助金等に対する機関経理事務を行ったところである。 					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業は、競争的研究費の経理事務費に必要な経費であり、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	589	平成23年	536	平成24年	475

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.非常勤職員			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験研究費	事務補助等の業務に係る賃金	51			
計		51	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	会議出席謝金及び旅費	0.04		
2	個人B	会議出席謝金及び旅費	0.03		
3	個人C	会議出席謝金及び旅費	0.02		
4	個人D	会議出席謝金及び旅費	0.02		
5	個人E	会議出席謝金及び旅費	0.02		
6	個人F	会議出席謝金及び旅費	0.02		
7	個人G	会議出席謝金及び旅費	0.02		
8	個人H	会議出席謝金及び旅費	0.02		
9	個人I	会議出席謝金及び旅費	0.01		
10	個人J	会議出席謝金及び旅費	0.01		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)キャリア	事務補助等の業務に係る人材派遣	0.85	3	41.69%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	事務補助等の業務に係る賃金	51		
2	富士ゼロックス(株)	複合機の賃貸借料及び保守料	0.66	随意契約	
3	(株)伊藤サプライ	消耗品購入費	0.5	随意契約	
4	郵便事業(株)	郵送料	0.3		
5	みずほ銀行	取引照会サービス利用料等	0.3		
6	(財)平和協会 駒沢診療所 駒沢健康管理センター	非常勤職員の婦人科検診に係る健康診断料等	0.04	随意契約	
7	医療法人社団康生会	非常勤職員の一般・特別定期健康診断	0.03	4	77.87%
8					
9					
10					